

第4章

厨房機器とIoTを繋ぐ

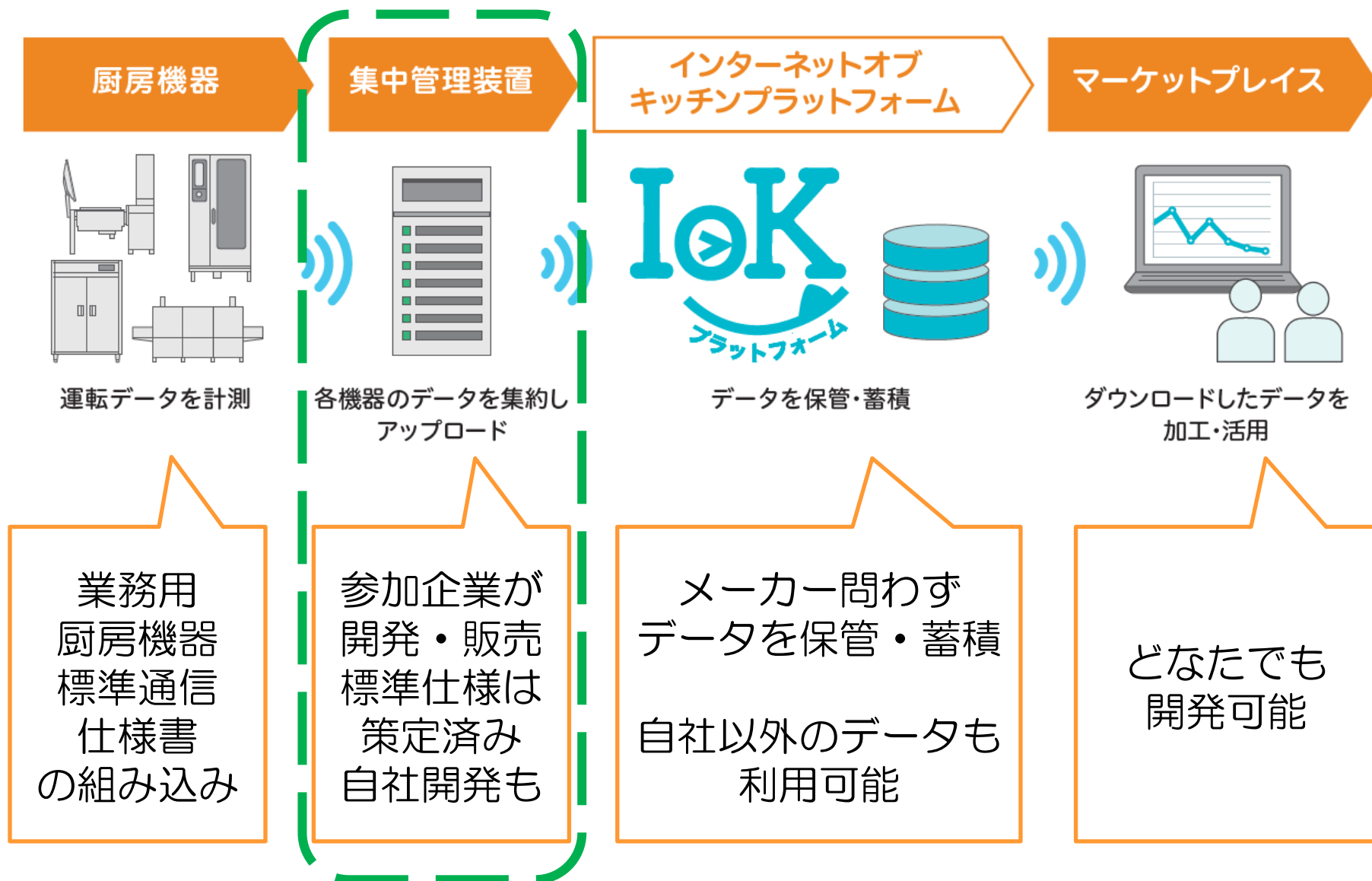
情報通信機器の開発について



株式会社 扶洋
営業推進グループ
課長
井川 翔太

- 情報・環境・生産システムの技術商社にて、営業推進部門に従事
- 2019年、集中管理装置 取扱商社として、製品開発に携わり現在まで参画

◆ インターネット オブ キッチン プラットフォーム の し く み



◆集中管理装置とは？



◆IoKPF動作確認済み集中管理装置



KP-GW01(梅沢無線電機)



Rooster NSX7000(サン電子)

◆仕様書・アップロードのポイント

正確な時刻を保持
(NTPやGPSの利用)

厨房機器をポーリング
(標準通信仕様)

IoKPFへのアップロード
は通常10分間隔(変更可)

緊急性の高い警報情報は
即時IoKPFへアップロード

通信障害対応のバッファ
50MB(min.)

仕様書では最低限実装が
必要な機能のみ規定

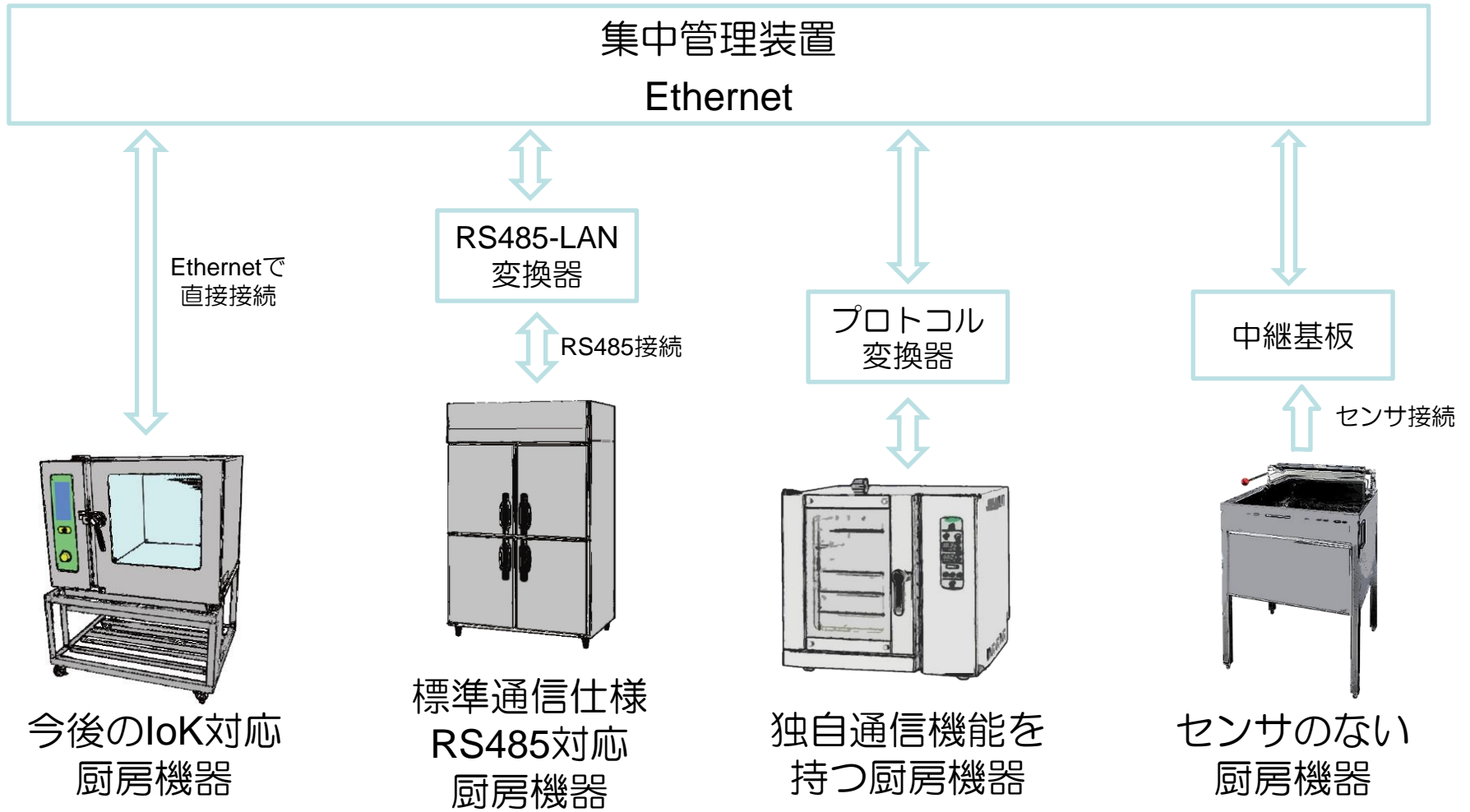
- 集中管理装置利用規約・仕様書

https://denkachubo.com/platform/pdf/kanri_202204.pdf

- アップロードAPI情報アクセスにはJEHCとNDA締結が必要



◆IoKPF参画・接続をご検討中の厨房機器メーカー様



◆集中管理装置メーカーとして参画をご検討中の企業様

- アップロードAPIの開示にはJEHCとNDA締結が必要
- 集中管理装置メーカーに月額費用(定額)が発生
- 集中管理装置のハードウェア仕様は規定されていない
⇒例えばPCにアプリを導入した製品も開発可能
- LTE、WiFi対応やRS485対応等で他社製品と差別化が可能



◆集中管理装置の可能性

標準通信仕様には..

- レシピのアップロード
- 制御指示
- 運転状態の確認

などのプロトコルも用意されている

調理メニューの遠隔
アップデートや、

周辺機器にもプロト
コルが実装される
と…、

新たな価値に

